

「想いが未来を拓く!!」

テーマ

# 「富士印刷のGX経営に向けた道のり」

# 社 是

## せんぎこうり 「先義後利」

先義後利

常に利他の心を忘れず

真心を持ち誠の道に達し事なく

業に励み

世の為人の為に尽くす

代表取締役 石川 正人

## 会社概要

設立年月日	昭和42年1月18日
資本金	1,000万円
社員数	49名
代表取締役	石川 正人
本社	愛媛県四国中央市川之江町長須192
大野原工場	香川県観音寺市大野原町青岡172-3
大野原第2工場	香川県観音寺市大野原町青岡165-1
観音寺工場	香川県観音寺市木之郷町大道上1451-1



# 作業風景

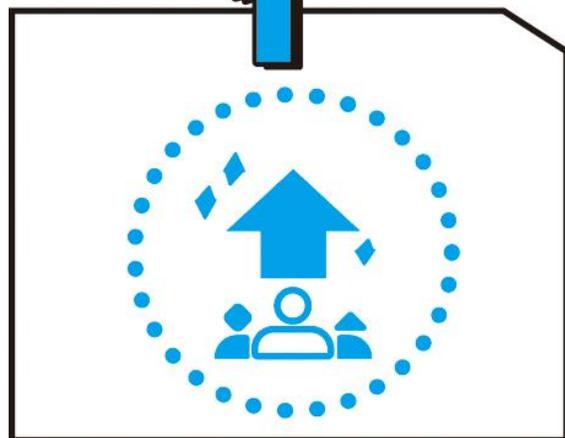


# 当社の経営戦略



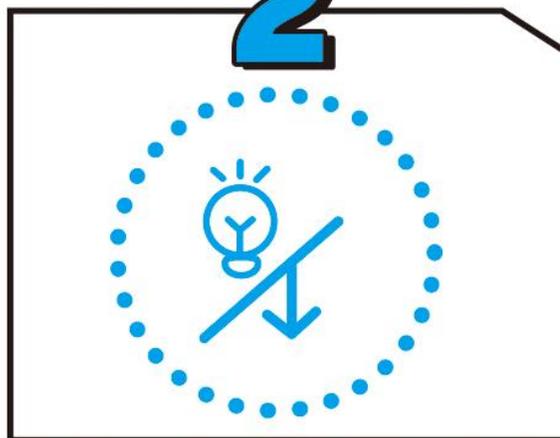
# 経営戦略的5要素

1



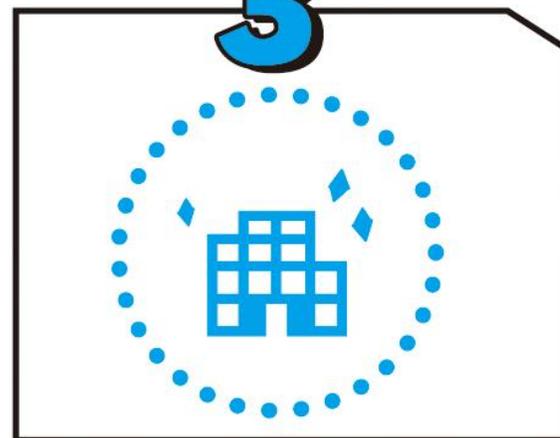
優位性の構築

2



光熱費・  
燃料費の低減

3



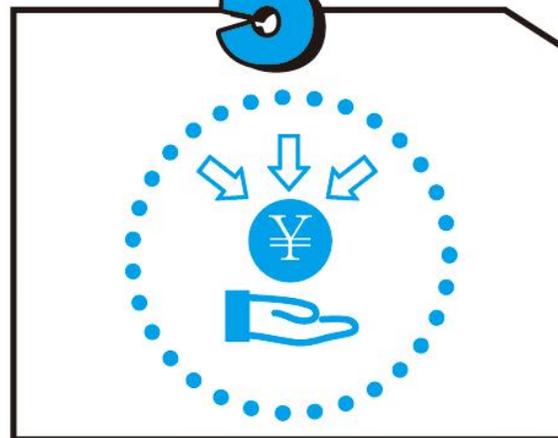
知名度・  
認知度向上

4



社員の  
モチベーション・  
人材獲得力向上

5



好条件での  
資金調達

# GX

グリーントランス  
フォーメーション



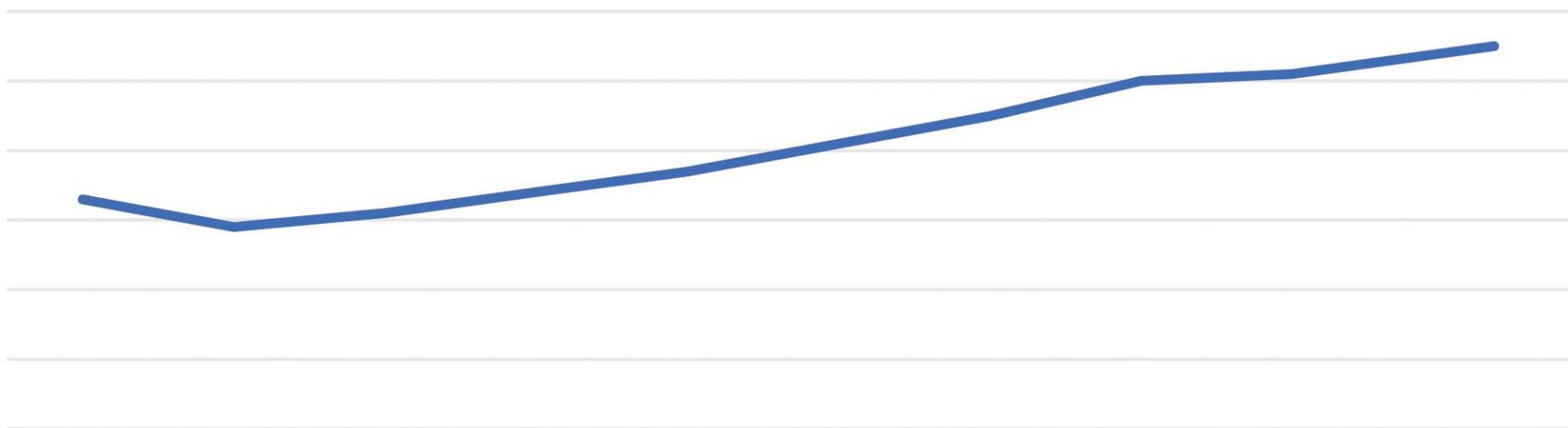
## GX 経営

- 売上増加
- 経費削減
- 雇用確保
- 資金繰り
- 事業承継



# 株式会社富士印刷 売上推移

(円)



2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年 2022年 2023年 2024年 2025年 (年)

- ・ SBT 認証取得
- ・ J-1 クレジット 購入
- ・ 「かがわ脱炭素取組優秀賞」を受賞
- ・ 中小機構によるハンズオン支援
- ・ 「脱炭素経営への取組み」
- ・ 「省エネお助け隊」による省エネ診断実施
- ・ 「TEAM EXPO 2025」プログラム共創チャレンジへ参加登録
- ・ かがわ地方創生SDGS登録制度に登録
- ・ カーボンニュートラル実践セミナー開催
- ・ ローカルSDGS 四国に登録
- ・ 四国中央市SDGS推進パートナーに登録
- ・ SDGS 行動宣言
- ・ 「省エネお助け隊」による省エネ診断実施
- ・ 新型コロナウイルス流行

# 大手取引先において、サプライチェーンでの開示の義務化が見込まれる

SSBJ 基準への対応の準備段階に入っています  
(サステナビリティ基準委員会)

The screenshot shows the website of the Sustainability Standards Board of Japan (SSBJ). The page title is "サステナビリティ基準委員会がサステナビリティ開示基準を公表" (Sustainability Standards Board of Japan Announces Sustainability Disclosure Standards). The content includes the date "2025年3月5日" (March 5, 2025) and the name "サステナビリティ基準委員会" (Sustainability Standards Board of Japan). The main text states that the committee was established in July 2022 to contribute to the development of international sustainability disclosure standards. It also mentions that the committee has approved three standards on February 19, 2025, during its 49th meeting. The standards listed are: 1. Sustainability Disclosure Universal Standard [Sustainability Disclosure Standards Application], 2. Sustainability Disclosure Thematic Standard No. 1 [General Disclosure Standard], and 3. Sustainability Disclosure Thematic Standard No. 2 [Climate-Related Disclosure Standard]. A link "公表にあたって" (About the Announcement) is provided at the bottom.

2025年3月5日  
サステナビリティ基準委員会

当委員会は、国際サステナビリティ基準審議会（以下「ISSB」という。）の設立を受け、2022年7月に、我が国において適用されるサステナビリティ開示基準の開発及び国際的なサステナビリティ開示基準の開発への貢献を目的として設立されました。

当委員会は、サステナビリティ開示基準の開発にあたり、基準を適用した結果として開示される情報が国際的な比較可能性を大きく損なわないものとなるようにするため、その基本的な方針として、ISSBのIFRSサステナビリティ開示基準との整合性を図ることを基礎とし、議論を重ねてまいりました。

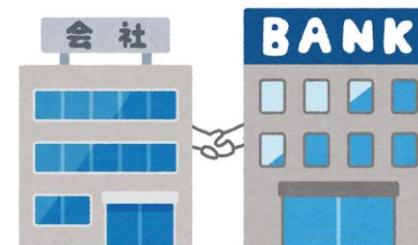
当委員会は、2025年2月19日開催の第49回サステナビリティ基準委員会において、我が国最初のサステナビリティ開示基準となる、次の3つのサステナビリティ開示基準の公表を承認しましたので、本日公表いたします。

- サステナビリティ開示ユニバーサル基準「サステナビリティ開示基準の適用」
- サステナビリティ開示テーマ別基準第1号「一般開示基準」
- サステナビリティ開示テーマ別基準第2号「気候関連開示基準」

[公表にあたって](#)

## 着目点（当初の打ち手）

### 金融機関との連携の重要性



四国中央市は紙産業が盛んな地域

多くの金融機関から地元企業に金融面でご支援賜っている

人口 79,668人（令和7年10月末）

（銀行数13行・30店舗）

金融機関像

単なる資金供給機関で  
よいか？

売り手市場



付加価値額を増大化  
してくれる資金供給機関

付加価値額 = 営業利益 + 人件費 + 減価償却費

# 取引金融機関の営業担当者に全振り

困った

困った



後 日



アフォーナ3 実践事例 | 実践内容 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5. 支援の検討 | 関係構築 | 履修事例

### 取引先の中長期的な取組の検討

- 経営者の意思やありたい姿に向けて、将来的な機会の獲得やリスク緩和をし、取引先が既存事業をより持続可能なものへと変革するために何を現実していくべきかを、中長期的な視点で取引先と検討していることが重要である。
- 中長期的な取組を行っていく際には、関連する取組が与える環境・社会への影響を把握し、将来的な目標を設定、その実現に向けた取組の進捗管理をするというオーソドックスなPDCAの手法が考えられる。

実施事項 (例)	概要
現状把握	<ul style="list-style-type: none"><li>・ リスクや機会につながる取組の環境・社会へのインパクト、あるいは、そのインパクトの創出に關係する取組について可能な限り定量的に把握する。 (例: CO2排出量、廃棄物排出量、プラスチック使用量等)</li><li>・ 現状の取組についても適切に開示・公開することで、顧客が新規の販売先の獲得に向けたアピール材料とできる。</li></ul>
目標設定	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 上記で把握した事項について、将来的な目標を設定する。なお、可能な限り事業目標と連動して設定することが望ましい。 (指標例: 一袋あたりのプラスチック使用量、腐敗防止向けの包装供給量等)</li><li>・ 設定した目標、実行内容、進捗状況を公開・開示することも関連するステークホルダーへの透明性を高め、信頼向上につながる可能性がある。</li></ul>
実行	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 目標達成に向けて日々の取組を実施。必要に応じて、研究開発投資や設備投資を実行する。</li><li>・ 設定した目標に向けた取組の実行において、必要な取引先や外部機関との連携も効果的な手段となりうる。</li></ul>
進捗管理	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 設定した目標に対して、どの程度進捗しているかを、定期的に管理する。 (金融機関としてもモニタリングの際に確認することが可能)</li></ul>

94

# 2021年9月



## 香川県脱炭素設備投資促進コンソーシアムの 専門家派遣制度（2021年9月～2022年2月の約5ヵ月）を申請 脱炭素診断を受けてみてはどうか



### 株式会社富士印刷のCO<sub>2</sub>削減報告書をお作りいただく

#### 香川県地域ESG脱炭素設備投資促進専門家派遣 を始めます！

香川県地域ESG脱炭素設備投資促進専門家派遣を始めます！

香川県では、脱炭素社会の実現に向けて、県内事業者の環境に配慮した（ESG）設備投資を促すことを目的に、下記メンバーにより、「香川県地域ESG脱炭素設備投資促進コンソーシアム」を設置しました。

コンソーシアムの活動の一環として、県が、CO<sub>2</sub>削減に寄与する脱炭素設備投資を行う県内事業者に対して、融資に必要なCO<sub>2</sub>排出削減に係る目標の設定や、その目標に向けた計画策定の技術的なサポートを行う専門家を派遣し、コンソーシアムにおいて情報共有等を行い、県内事業者の再エネ・省エネ設備・機器の導入を促進します！

<コンソーシアム>  
(株)百十四銀行、(株)香川銀行、高松信用金庫、観音寺信用金庫、香川県信用組合、(公財)かがわ産業支援財団、(公財)香川県環境保全公社、香川県

#### 省エネお助け隊 がサポートします

省エネにお悩みの事業者の皆さまを

省エネでコストメリットを最大化して省エネ！  
省エネって何をどうすればいいかわからないから条件がずー...  
コストのかかる設備導入はできない！  
省エネをした効果がよく分からないだけ...  
もっと効果的に省エネを進める方法ってあるの？

その悩み『省エネお助け隊』に聞いてください！

- 無料で相談や打ち合わせを行います
- お客様で約1割負担

事前ヒアリング	事前打ち合わせ	省エネ診断・支援
省エネの悩みを事前にヒアリング 省エネ診断・支援において必要となるニーズ及び課題を事前にヒアリングします。	地域の専門家を交えてメニューの決定 省エネお助け隊・専門家・中小企業等の3者で契約内容（診断・支援内容、費用）についての打ち合わせを行います。	課題の抽出から改善までフェーズごとにサポート 契約に基づき、省エネ診断・支援を実施します。契約締結した時点で全て終了し、報告書に基づき報告書も実施します。

料金  
省エネ診断 >> 専門家1名の場合：9,200円(税別) / 10,120円(税込) | 専門家2名の場合：14,000円(税別) / 15,400円(税込)  
省エネ支援 >> 省エネ支援費の約1割を ご負担いただきます

「省エネお助け隊」の活動状況については、WEBサイト「省エネお助け隊ポータル」に掲載されています。

詳しくは 省エネお助け隊ポータル 検索  
もしくは [www.shoene-portal.jp](http://www.shoene-portal.jp)

▲令和3年度 香川県脱炭素設備投資促進コンソーシアム

# ■ 専門家（エネルギー管理士）による脱炭素ポテンシャル診断



2022年2月

# 省エネルギー診断報告書

## 二酸化炭素排出量算定・削減報告書

株式会社富士印刷 御中

省エネ  
お助け隊

令和3年度 地域プラットフォーム構築事業  
省エネルギー診断報告書

令和 3年12月8日

支援対象者名	株式会社富士印刷
事業所名	大野原工場
事業所所在地	香川県観音寺市大野原町青岡172-3
診断実施者	坂東 宏治
診断実施日	令和3年10月13日
省エネお助け隊名 (診断実施事業者)	公益財団法人 香川県環境保全公社

株式会社富士印刷 御中

省エネ  
お助け隊

令和3年度 地域プラットフォーム構築事業  
省エネルギー診断報告書

令和 3年12月8日

支援対象者名	株式会社富士印刷
事業所名	観音寺工場
事業所所在地	香川県観音寺市木之郷町大道上1451-1
診断実施者	坂東 宏治
診断実施日	令和3年10月13日
省エネお助け隊名 (診断実施事業者)	公益財団法人 香川県環境保全公社



株式会社富士印刷 御中

令和3年度香川県地域ESG脱炭素投資促進専門家派遣事業委託業務

株式会社富士印刷

二酸化炭素排出量算定・削減報告書

目次

- I 要約
- II 事業所概要
- III CO2排出量算定
- IV CO2排出削減のポテンシャルと短期・中長期計画
- V 資料

報告書番号	
法人番号	450001014762
事業者住所	愛媛県四国中央市川之江町長須192
事業者名	株式会社富士印刷
事業所住所	香川県観音寺市大野原町青岡172-3 香川県観音寺市木之郷町大道上1451-1
経営責任者名	代表取締役 石川正人
業種	印刷業
主要製品・サービス	オフセット印刷 シール印刷
調査組織	一般社団法人エコエネ技術士ネット
報告日	2022年2月28日
専門家	児玉 弘士 金光 良介 池田 正規 栗原 茂

# 脱炭素化に向け、大枠の構想を建てる

# バックキャストिंग

現況約300t

(当社全体)2021年現在

↓  
2030年目標 30%減

90t削減

2030年

当社全体のCO<sub>2</sub>排出量を  
210tにする

2028年

脱炭素に向けた  
加工工場の新設

新加工工場イメージ



2024年

脱炭素に向けた  
印刷工場の新設



2022年

脱炭素に向け専門家を  
依頼し社内教育の実践



事業再構築の人材育成計画

# SDGs 行動宣言

## 2022年3月



### 取引銀行で SDGs推進計画を策定→宣言

2022年3月8日



**SDGs行動宣言**  
株式会社富士印刷

わが社は、企業活動を通じて、社会課題の解決に取り組み、SDGs達成に貢献しています。

項目	関連するSDGsのゴール	SDGs達成に向けた取組
<b>環境</b> 脱炭素社会の実現	13 気候変動に具体的な対策を 7 再生可能エネルギーを拡大する	・製造工程における2021年度CO <sub>2</sub> 排出量を2030年度迄に30%削減し、2050年度のCO <sub>2</sub> ネットゼロを目指す ・温室効果ガスの削減に向けた、再生可能エネルギーの利用や省エネ対策の推進
<b>職場</b> 健康経営の推進	3 健全な生活のために目標を設定し、持続可能な消費と生産を実現する 8 働きがい、経済成長、雇用を創出する	・ハラスメントに関する規定を設け、社内掲示板やポスターなどによる社内周知 ・労働災害事故の撲滅
<b>研究</b> 責任ある企業行動	12 持続可能な消費と生産を実現する 9 働きがい、経済成長、雇用を創出する 17 持続可能なパートナーシップを促進する	・人と環境に優しい安心・安全な製品の提供 ・循環型社会に向けた、ライフサイクル全体でのサイクリングの実現 ・産学連携での基礎的研究の実施
<b>社会</b> レジリエントな社会づくり	11 持続可能な都市とコミュニティを創出する 17 持続可能なパートナーシップを促進する 2 気候変動に具体的な対策を	・地域全体のエネルギー計画への参画、地球環境への貢献 ・サプライチェーン全体での地産地消の推進および、地域環境保全活動の実施

私ども、株式会社富士印刷の全従業員は、経営理念に掲げる「時代とともに進化し、新しい価値を創造することにより、全社員、お客様、世の中の皆様の物心両面の幸福を追求すると共に、感謝の心をこめて社会に貢献する」の実現を目指し、地域社会の一員として、地域のさまざまな行事や活動に参加するとともに、カーボンニュートラルを含む環境課題に積極的に取り組み、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）達成のため果敢に行動してまいります。



**地域と歩む 新たな未来**  
**観音寺信用金庫**

項目	関連するSDGsのゴール	SDGs達成に向けた取組
<b>環境</b> 脱炭素社会の実現	13 気候変動に具体的な対策を 7 再生可能エネルギーを拡大する	・製造工程における2021年度CO <sub>2</sub> 排出量を2030年度迄に30%削減し、2050年度のCO <sub>2</sub> ネットゼロを目指す ・温室効果ガスの削減に向けた、再生可能エネルギーの利用や省エネ対策の推進

2022年3月8日

四国経産局先進事例に  
推薦される

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

**株式会社 富士印刷（商業印刷 紙加工業）**

- SDGs経営は「社是」でもある「先義後利」の精神と相似する取り組みであり、自然に受け入れることができた。
- SDGs経営と真摯に向き合ったことが、**新商品の開発、若手社員の雇用対策（奨学金返還支援制度への登録）**など、新たな取り組みを始めるきっかけになった。

○SDG経営に対する意識の変化

・社は世の中の中トンドを追う形で、取組を開始。試行錯誤していた取引金融機関の薦めにより勉強会へ参加し、自社の認識の甘さを痛感。SDGs経営はサプライチェーン全体での取組が必要であり、廃止（対応できない）企業は存続できないとの危機感を覚える。

・宣言に向けて勉強会やミーティングを重ねる中で、なぜ、何のために取組むのか少しずつ納得、理解できたことで自社の方針と宣言を結びつけることができた。

・既存のサプライチェーンを形成する一連の企業が共存できるように、取引先（調達先）と共に対話を重ねSDGsのマインドを共有している。

○SDGs宣言における当社の取組

・「CO<sub>2</sub>排出量30%削減」に向け、「省エネお助け隊」の支援により省エネ診断を実施。診断結果に基づき、老朽化した設備の更新によるエネルギー効率改善や、廃熱設備の設備変更による工場内環境の改善を検討中。

・社員の経済を心身に守ることは、当然の責務として取り組んでいる。また、新たに「公財」川之江奨学金返還支援制度に登録。就業した際の奨学金返済を支援することで、若手社員が安心して働ける環境を提供。

○SDGs経営に取り組んで良かったことと今後

・自社を取り巻く環境や、今後目指すべき方向性等について考えるきっかけとなった。特に、新商品の開発者や奨学金返還支援制度への登録という動きは本邦初取り組みが実現していただき、企業の成長を促す良い機会を得ることができた。

・どのような事でも、継続していると当たり前になってくる。例えば、当社の行っている「SS活動」は毎月報告会を、継続するうちに社員が自分から言えるようになった。「SDGs経営」についても一日も早く社員に浸透させ、各人が自然と行動に実践出来るよう取り組んでいきたい。

※「整理、整頓、清掃、清潔、しつこい」の5Sから始まる5Sの経営の精神で、職場環境の改善や維持のために用いられている。

○社内での取組体制

・取組を始めから宣言に至るまで2年を要した。取引金融機関と一人三層で始めたが、最初は用語一つ一つも理解に苦労した。最初は用語一つ一つも理解に苦労した。

・社内での浸透にも難航し、まずは社長を中心とする経営者層でチームを結成。次に管理者層へと下ろしていき、役員層にまで浸透していった。

・SDGsは納得、理解してもらうまでに時間がかかり、何度も対話を重ねる必要がある。宣言を行った現在でもまだ社員全員まで浸透してはいないが、最後の一人まで浸透するよう社内活動を継続する。

○会社概要

【本社】愛媛県四国中央市川之江町長寿192番地  
1967年に設立され、50年以上の歴史を有する。2017年には、経済産業省より地域未来牽引企業に認定される。時代とともに進化し、新しい価値を創造することにより、全社員、お客様、世の中の皆様の物心両面の幸福を追求すると共に、感謝の心をこめて社会に貢献する」という経営理念のもと、地域中核企業として三方良しのSDGs経営を推進。

2022年6月17日

# 補助金申請

## 新たなサービス提供への挑戦

本事業計画名： 2050年カーボンニュートラルに向けた地域脱炭素支援サービスへの新分野展開

事業概要： 2050年カーボンニュートラルに向け、二酸化炭素排出量算定・削減報告書に沿ったCO<sub>2</sub>削減効果の高い設備投資と脱炭素印刷工場の新築を行い、省エネ型印刷サイクルの構築、自社ブランド商品「脱炭素グッズ！ 燧（ひうち）SDGsセット」を製造、啓発活動を通して金融機関など地元事業所に販路を確立し、地域の脱炭素社会への進展に貢献する

事業実施場所： 香川県観音寺市大野原町青岡 165-1, 166-1

表-IV.6 CO2排出量削減 短期・中長期投資ポテンシャル 大野原工場  
CO2排出削減投資 スケジュール(%)

No.	件名	内容	エネルギー種別	優先順位	実施時期		エネルギー削減		コスト削減		CO2排出量削減		削減率		削減率	削減率
					短期(2024年度)	中期(2025年度)	削減量	削減率	削減率	削減率	削減率	削減率				
1	オフセット印刷機更新	オフセット印刷機(リソロン2号機)老朽化に伴う更新を機軸とする。付帯設備(リソプロワー)を更新することで排熱による工場内空調負荷増大が回避される。尚、印刷機更新には、補助金を活用する。	電気	1	○		5.7	5.7	662	662	11.0	5.5%	11.0	5.5%		
2	空調設定温度の見直し	本場内及び事務所の空調設定温度の見直し	電気	2	○		1.9	7.6	225	887	3.7	1.9%	14.8	7.3%		
3	空調稼働時間短縮の見直し	稼働時間が少ない。空調稼働時間短縮による削減効果を見込む。	電気	2	○		3.0	10.5	345	1,232	5.8	2.9%	20.6	10.2%		
4	エアコンプレッサフィルタ目詰まり	リソロン1号機用エアコンプレッサフィルタが目詰まりを起している。目詰まりを定期的に取り除くことでエアコンプレッサの動力削減を図る。	電気	2	○		0.0	10.6	5	1,237	0.1	0.0%	20.7	10.3%		
5	エアコンプレッサフィルタ吐出圧力の低減	リソロン1号機用低圧エアコンプレッサが設置されている。エアコンプレッサは定格圧力にない低圧で運転している。設定圧力を0.1MPa下げた場合の省エネ効果を見込む。	電気	2	○		0.0	10.6	3	1,240	0.1	0.0%	20.7	10.3%		
6	コンプレッサの集約化	現在は各所で小型コンプレッサが設置されているが、機械室に設置して、室内に排出する熱を削減し、冷房用電力を削減する。	電気	3	○		2.0	12.6	235	1,475	3.9	1.9%	24.7	12.2%		
7	全熱交換器の導入	事務所棟・アサイン棟など、生産設備の給排気が必要ない場所へ全熱交換器を設置して冷房用電力を削減する。	電気	4	○		0.8	13.4	95	1,570	1.6	0.8%	26.2	13.0%		
8	加温器に井戸水を使用	印刷工程で、加温器が冷房で運転されている。加温器は井戸水を使用する。スプレー式。	電気	5	○		1.4	14.9	165	1,735	2.8	1.4%	29.0	14.4%		
9	建物断熱強化	断熱化により空調用電力を削減する。	電気	6	○		4.9	19.7	573	2,308	9.6	4.7%	38.6	19.1%		
10	受変電設備更新	受変電設備の老朽化更新時に、適正容量化とトランスフリー構造の採用による損失30%削減を図る。	電気	6	○		0.0	19.8	2	2,310	0.0	0.0%	38.6	19.2%		
11	太陽光発電設備導入 I	CO2排出削減及びピーク電力削減(電力需給抑制型併設)のため、新工場棟に太陽光発電設備を設置する。	電気	6	○		5.5	25.2	520	2,830	10.7	5.3%	49.3	24.5%		
12	太陽光発電設備導入 II	CO2排出削減及びピーク電力削減(電力需給抑制型併設)のため、新工場棟に太陽光発電設備を設置する。	電気	6	○		2.7	27.9	254	3,083	5.2	2.6%	54.5	27.1%		
13	電動用車への転換	工場内で使用する商用車の動力源をガソリンによるエンジンから電動化する。従来電力は、現在の購入電力から設備的にCO2排出しない電気に転換する。	ガソリン	6	○		1.7	29.6	-1	3,082	6.2	3.1%	60.7	30.1%		
14	電動製品等搬送車への転換	工場内搬送用フォークリフトの動力源を鉛蓄電池によるエンジンから電動化する。従来電力は、現在の購入電力から設備的にCO2排出しない電気に転換する。	軽油	7	○		1.8	31.4	245	3,327	6.4	3.2%	67.1	33.3%		
合計							31.4	31.4	3,327	3,327	67.1	33.3%	67.1	33.3%		

## 補助金対象の設備

《機械装置費》オフセット印刷機・・・世界最高クラス ROI (ROI= 投資収益率)を実現できる印刷機候補機種 最新式省エネ型 高効率高精度印刷機「リソロン G40 アドバンス」(小森コーポレーション)



## 補助金対象外の設備

自社消費用 太陽光発電設備設置

脱炭素印刷工場の屋根部分に設置する

EV 車、EV フォークリフトを導入して、電化部分をアピールする

電気  
で動く  
持続化な  
EVフォークリフト

# 実施

100%自家消費型太陽光発電



国産省エネ型 最新フルスペック  
オフセット印刷機

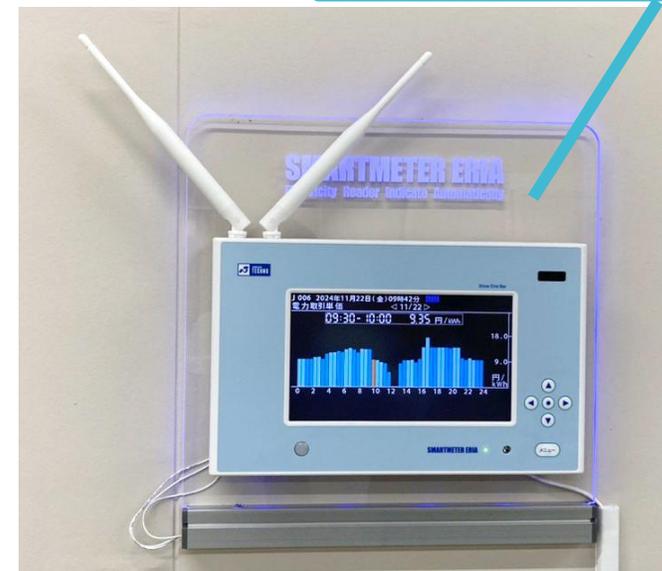
前機種と比較し約  
20%~CO<sub>2</sub>削減



全工場EV化  
プラットフォーム



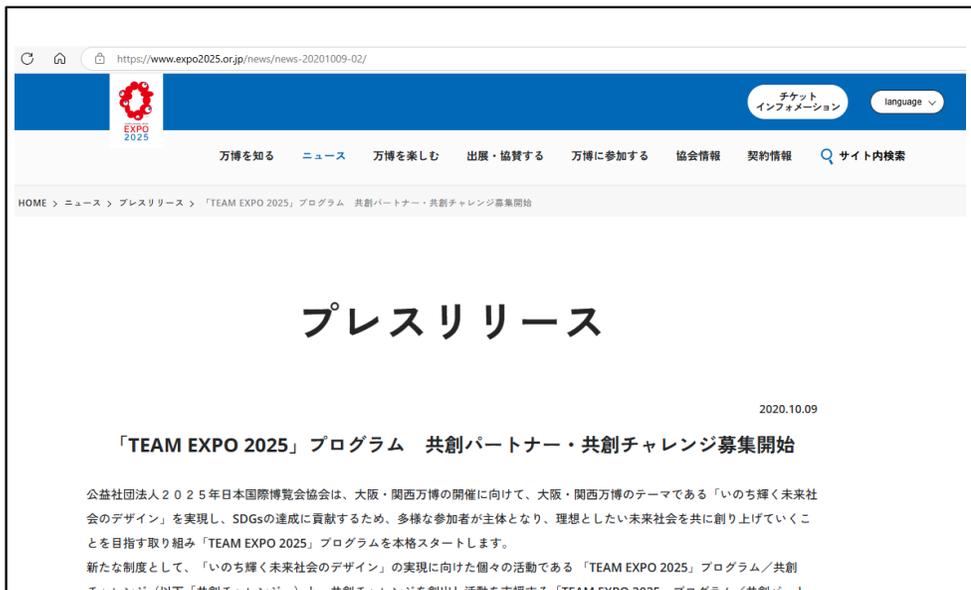
電力のデマンド  
管理システム  
(全工場設置)



国産EV車  
導入



# 開示（公的Webサイト・自社HP等）



共創チャレンジ 株式会社 富士印刷

## 四国の中心からゼロカーボン発信

**■共創チャレンジの内容**  
 産業の町ー四国中央市、観光の町ー三豊市・観音寺市から**脱炭素化**を発信します。  
 太陽光発電設置の脱炭素工場新築、省エネ型印刷機やEV車の導入により、印刷時の有害化学物質や騒音が低減され、**環境負荷の少ない印刷**が可能となりました。今後は「低炭素グッズ！ 燧（ひうち）SDGsセット」を使用し、**地域の脱炭素社会**への進展に貢献していきたいです。

**■今後の展開**  
 四国だけではなく、本州へも展開したいと考えています。四国が拠点の企業・団体、当チャレンジをご支援いただける行政機関、金融機関との共創を希望。

**■大阪・関西万博テーマとの関わり**  
 書道パフォーマンス甲子園inEXPO（特別大会）が開催されるため、印刷物の面から協力したいです。

**■問い合わせ先**  
 株式会社 富士印刷 総務部  
 TEL：0875-27-6494  
 FAX：0875-27-7951  
 Mail：info@fujii-print.jp

四国の中心からゼロカーボン発信

共創チャレンジ 2024.06.06

**法人**

フォーム名	株式会社富士印刷
代表者ID	株式会社富士印刷
住所の登録地域	四国中央
業種	印刷業
活動テーマ	観光、インバウンド/地域活性化/ものづくり、サービス/大規模・関西万博の国内発信、テーマ事業の推進

---

**■共創チャレンジの内容**  
 株式会社富士印刷は、愛媛県四国中央市に本社を置く、高知県観音寺市に大野田工場と観音寺工場を構える印刷会社です。昨年、西条市と共同で太陽光発電設備を新築した脱炭素工場稼働及び観音寺市と共同でEV車の導入を行いました。これにより、印刷時に発生されるVOCsなどの有害化学物質および騒音を低減し、環境負荷の少ない印刷が可能となりました。今後は書道パフォーマンス「燧（ひうち）SDGsセット」を使用する脱炭素工場新築サービスにより、地域を巻き込みながらSDGsの推進活動を通して地域の脱炭素社会への進展に貢献していきたいです。  
 また、当社の志業として「燧の街」から「燧」が令和20年度に開催される予定です。迅速かつ正確な発信が求められるため、当社の脱炭素工場を稼働してもらえる深い期待を寄せています。  
 企業の一歩一歩が社会の発展に繋がります。観音寺市・高知県中央市・観音寺市から脱炭素化を発信します。

**■応募要項**  
 人数：5名程度を想定し、幅広い領域・専攻分野など多岐にわたる募集できる人材

**■参加したい地域**  
 四国だけでなく、本州へも展開していきたいと考えています。

**■募集を希望する方々**  
 ・四国を拠点に活動する企業、団体  
 ・当チャレンジをご支援いただける行政機関、金融機関

**■実施・関西万博テーマとの関わり**  
 書道パフォーマンス大会・関西万博において、従来の「紙で伝えるSDGs」を国内向け発信の手段として、「視覚的に楽しむ」、「聴く」、「読む」、「書く」の「五感」を活用し、本場から「書道パフォーマンス」が最も効果的であると考えられ、書道パフォーマンス甲子園inEXPO（特別大会）が開催されます。何れもご期待という面から協力していきたいです。

**■連絡先**  
 株式会社富士印刷 総務部  
 〒762-1617 高知県観音寺市大野田町倉前172-3  
 TEL：0875-27-6494 FAX：0875-27-7951  
 Mail：info@fujii-print.jp

■この共創チャレンジを支援する共創パートナー

# Scope3の開示（中小企業では超レア！）

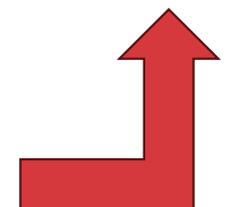
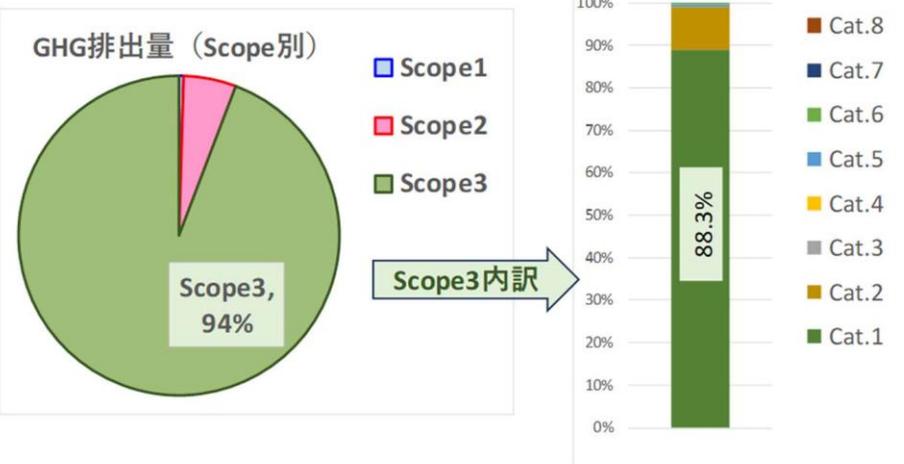
Scope3とは、事業者の活動に関連するその他の排出（Scope1、2以外の間接排出）

カテゴリ	行ラベル	経費支出 割合	経費支出 総計	GHG排出量 割合	GHG排出量 総計
Cat.1	材料仕入	45.5%	3,987.06	70.7%	
Cat.2	建設費	14.1%	348.39	6.2%	
Cat.1	外注加工費	13.5%	37.14	0.7%	
Cat.1	補助材料費	4.6%	134.60	2.4%	
Cat.2	減価償却費	4.2%	128.35	2.3%	
Cat.1	商品仕入	2.7%	188.42	3.3%	
Cat.1	原材料	2.3%	216.51	3.8%	
Cat.2	ソフトウェア	1.5%	9.83	0.2%	
Cat.1	修繕費	1.3%	33.85	0.6%	
Cat.1	保険料	1.0%	5.93	0.1%	
Cat.1	消耗品費	0.9%	38.89	0.7%	
Cat.1	生命保険料	0.8%	4.91	0.1%	
Cat.2	機械及び装置	0.6%	17.35	0.3%	
Cat.1	管理費	0.5%	7.42	0.1%	
Cat.4	発送運搬費	0.4%	6.48	0.1%	
Cat.1	接待交際費	0.4%	9.72	0.2%	
Cat.1	保守料	0.3%	1.95	0.0%	
Cat.5	ごみ処理費用	0.3%	24.18	0.4%	
Cat.2	工具、器具及び備品	0.3%	5.50	0.1%	
Cat.1	通信交通費	0.2%	1.81	0.0%	
Cat.1	事務用消耗品費	0.2%	9.84	0.2%	
Cat.1	実習費(他)	0.2%	4.44	0.1%	
Cat.1	厚生費	0.2%	4.27	0.1%	
Cat.4	車両運搬具	0.2%	2.59	0.0%	
Cat.2	通勤手当	0.2%	20.33	0.4%	
Cat.6	一括償却資産	0.2%	5.82	0.1%	
Cat.1	旅費交通費	0.2%	12.73	0.2%	
Cat.7	雑費(他)	0.2%	7.12	0.1%	
Cat.1	車両費(他)	0.1%	3.70	0.1%	
Cat.1	備品消耗品費	0.1%	4.12	0.1%	
Cat.1	雑会費	0.1%	1.52	0.0%	
Cat.1	広告宣伝費	0.0%	0.51	0.0%	
Cat.1	試験研究費	0.0%	3.84	0.1%	
Cat.5	PS版印刷費	0.0%	11.23	0.2%	
Cat.1	水道料	0.0%	1.72	0.0%	
Cat.8	リース料	0.0%	-	0.0%	
Cat.1	組合等水道	0.0%	0.57	0.0%	
Cat.8	賃借料	0.0%	-	0.0%	

Scope	排出量 (t)	割合	算定方法
Scope1	26.4	0.5%	エネルギー使用量より算定
Scope2	300.5	5.3%	エネルギー使用量より算定
Scope3	5,303.7	94.2%	支出金額より算定

Category	排出量 (t)
Cat.1	4715.5
Cat.2	529.8
Cat.3	1.1
Cat.4	9.1
Cat.5	35.4
Cat.6	5.8
Cat.7	7.1
Cat.8	0.0



決算書より算出可能

# SBT認証取得に挑戦



SCIENCE  
BASED  
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

2024.12.  
某新聞 経済欄

脱炭素経営認定  
中小1,000社超え

**SBT認証**取得、2年で売上高〇倍  
取引や採用で有利に



# 中小機構に支援依頼（ハンズオン）

聞き取り審査1回+支援3回（終日）

**カーボンニュートラル支援**

中小企業・小規模事業者の皆様がカーボンニュートラル・脱炭素に関する課題に合わせて支援を実施します。

**現状を知る** **CO<sub>2</sub>排出量を測る** **CO<sub>2</sub>排出量を減らす**

何から始めればよい？

カーボンニュートラルをはじめとした環境への取り組み、SDGsの推進など、お悩みや疑問はありませんか？

まずは、**中小機構の「カーボンニュートラル相談窓口」をご利用ください**

相談方法	相談時間	お申し込み方法
●対面相談（高松・松山） ●オンライン会議システム（Zoom・Microsoft Teams）	お問い合わせください 1回の相談時間は60分、程度でもご相談いただけます。	お電話(TEL:087-811-1752)もしくは「 <a href="#">HP</a> 」の「お問い合わせ」よりお申し込みください <a href="https://www.smg.jp/portal/0878111752">https://www.smg.jp/portal/0878111752</a>

**カーボンニュートラル取り組みのメリット**

近年では、グローバルに展開している企業を中心に取り組みが急速に広がっており、中小企業・小規模事業者が取り組むことでも様々なメリットがあります。

- SDGsの達成
- 地球環境に貢献
- 取引先からの信頼性向上

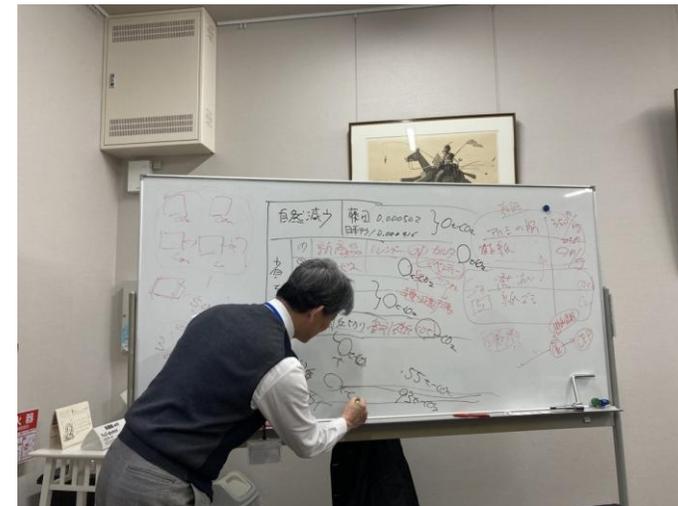
その他新たな需要の獲得・資金調達手法の拡大など、様々な効果が期待できます。

**知る**：チェックシートで現状把握  
**測る**：CO<sub>2</sub>排出量の算定、アドバイス  
**減らす**：削減目標の策定、削減対策の検討

**相談場所**

- 中小機構 高松本部 Tel.087-811-1752
- 中小機構 松山オフィス Tel.089-998-6531

セミナー・講習会に講師を派遣します！



# CO2算定

# Scope 1 + Scope 2

Scope 1とは、企業が直接的に排出する温室効果ガス（GHG）を指します。（ガソリンや軽油など）

Scope 2とは、自社が購入した電気・熱等のエネルギーの使用に伴う間接的な排出のことを指します。具体的には、自社が購入して使用した電気、熱、冷水、蒸気などが排出源となります。

## ワークシート① CO2排出量の算定（マーケットベース）

2018年度 Scope 1 + 2 314.53 t-CO2/年

1) ガス・重油の場合 Scope 1 (燃料) 30.85 t-CO2/年

NO	エネルギーの種類	エネルギー使用量		発熱量	単位	排出係数 [t-CO2/G]	CO2変換 [t-CO2/(44/12)]	CO2排出量 [t-CO2/年]	月別使用量															
		数量	単位						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
1	都市ガス	0.00	千m3/年	44.8	GJ/千m3	0.0136	3.666667	0.00																
2	LPG	0.00	t/年	50.8	GJ/t	0.0161	3.666667	0.00																
3	A重油	0.00	kg/年	39.1	GJ/kg	0.0189	3.666667	0.00																
4	灯油	0.31	kg/年	36.7	GJ/kg	0.0185	3.666667	0.09																
5	軽油	5.56	kg/年	37.7	GJ/kg	0.0187	3.666667	14.39	0.5432	0.4508	0.4061	0.473	0.4119	0.4522	0.53569	0.52691	0.5025	0.34633	0.53852	0.3778				
6	ガソリン	6.76	kg/年	34.6	GJ/kg	0.0183	3.666667	15.68	0.52192	0.4743	0.50765	0.6483	0.53205	0.6692	0.516	0.45811	0.68903	0.60186	0.5484	0.5882				
合計									30.85	1.06512	0.9251	0.91375	1.1213	0.94395	1.1214	1.05169	1.02102	1.24853	1.05319	1.14492	1.024			

2) 電気の場合 Scope 2 (購入電気) 283.68 t-CO2/年

NO	エネルギーの種類	エネルギー使用量		電気事業者名	単位	排出係数 [t-CO2/kWh]	CO2排出量 [t-CO2/年]	月別使用量															
		数量	単位					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
1	系統1	521,478	kWh/年	藤田商店		0.000544	283.68	36,362	38,466	47,948	52,409	52,661	47,723	41,226	40,735	39,605	41,458	40,781	42,104				
2	系統2	0	kWh/年				0.00																
3	系統3	0	kWh/年				0.00																
電気合計									283.68	36,362	38,466	47,948	52,409	52,661	47,723	41,226	40,735	39,605	41,458	40,781	42,104		

2019年度 Scope 1 + 2 430.66 t-CO2/年

1) ガス・重油の場合 Scope 1 (燃料) 34.07 t-CO2/年

NO	エネルギーの種類	エネルギー使用量		発熱量	単位	排出係数 [t-CO2/G]	CO2変換 [t-CO2/(44/12)]	CO2排出量 [t-CO2/年]	月別使用量														
		数量	単位						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	都市ガス	0.00	千m3/年	44.8	GJ/千m3	0.0136	3.666667	0.00															
2	LPG	0.00	t/年	50.8	GJ/t	0.0161	3.666667	0.00															
3	A重油	0.00	kg/年	39.1	GJ/kg	0.0189	3.666667	0.00															
4	灯油	0.09	kg/年	36.7	GJ/kg	0.0185	3.666667	0.23															
5	軽油	6.22	kg/年	37.7	GJ/kg	0.0187	3.666667	16.08	0.50058	0.35194	0.48336	0.46461	0.42951	0.5349	0.5262	0.4793	0.78861	0.477	0.7058				
6	ガソリン	7.65	kg/年	34.6	GJ/kg	0.0183	3.666667	17.76	0.5611	0.43897	0.60023	0.6962	0.66541	0.8055	0.6405	0.61162	0.619	0.6055	0.79627	0.6081			
合計									34.07	1.06168	0.79091	1.11959	1.16081	1.09492	1.3404	1.1667	1.09092	1.40761	1.1393	1.27327	1.31468		

2) 電気の場合 Scope 2 (購入電気) 396.59 t-CO2/年

NO	エネルギーの種類	エネルギー使用量		電気事業者名	単位	排出係数 [t-CO2/kWh]	CO2排出量 [t-CO2/年]	月別使用量															
		数量	単位					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
1	系統1	590,165	kWh/年	藤田商店		0.000672	396.59	40,863	43,678	49,609	56,529	57,971	55,192	48,543	42,520	45,501	46,001	51,181	52,577				
2	系統2	0	kWh/年				0.00																
3	系統3	0	kWh/年				0.00																
電気合計									396.59	40,863	43,678	49,609	56,529	57,971	55,192	48,543	42,520	45,501	46,001	51,181	52,577		

2020年度 Scope 1 + 2 289.50 t-CO2/年

1) ガス・重油の場合 Scope 1 (燃料) 34.02 t-CO2/年

NO	エネルギーの種類	エネルギー使用量		発熱量	単位	排出係数 [t-CO2/G]	CO2変換 [t-CO2/(44/12)]	CO2排出量 [t-CO2/年]	月別使用量														
		数量	単位						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	都市ガス	0.00	千m3/年	44.8	GJ/千m3	0.0136	3.666667	0.00															
2	LPG	0.00	t/年	50.8	GJ/t	0.0161	3.666667	0.00															
3	A重油	0.00	kg/年	39.1	GJ/kg	0.0189	3.666667	0.00															
4	灯油	0.04	kg/年	36.7	GJ/kg	0.0185	3.666667	0.09															
5	軽油	6.32	kg/年	37.7	GJ/kg	0.0187	3.666667	16.33	0.4473	0.4805	0.6047	0.30795	0.64486	0.4131	0.5405	0.5551	0.56871	0.61481	0.54031	0.60121			
6	ガソリン	7.58	kg/年	34.6	GJ/kg	0.0183	3.666667	17.59	0.75211	0.56601	0.715	0.6227	0.68231	0.6785	0.61347	0.94007	0.68244	0.5459	0.63257	0.5433			
合計									34.02	1.20251	1.04651	1.3197	0.93065	1.32717	1.0916	1.15397	1.09517	1.25115	1.16071	1.20888	1.14451		

2) 電気の場合 Scope 2 (購入電気) 255.48 t-CO2/年

NO	エネルギーの種類	エネルギー使用量		電気事業者名	単位	排出係数 [t-CO2/kWh]	CO2排出量 [t-CO2/年]	月別使用量															
		数量	単位					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
1	系統1	208,510	kWh/年	藤田商店		0.000497	103.63	50,360	42,944	51,380	58,137	770	684	723	694	721	730	692	675				
2	系統2	386,395	kWh/年	日本エナジー		0.000393	151.85	0.62101	0.5217	0.6871	0.3763	0.71264	0.7939	0.56347	0.47285	0.5542	0.4295	0.50481	0.4660				
3	系統3	0	kWh/年				0.00																
電気合計									255.48	50,360	42,944	51,380	58,137	63,151	57,641	43,934	38,049	49,243	49,507	43,824	46,735		

2021年度 Scope 1 + 2 303.00 t-CO2/年

1) ガス・重油の場合 Scope 1 (燃料) 33.48 t-CO2/年

NO	エネルギーの種類	エネルギー使用量		発熱量	単位	排出係数 [t-CO2/G]	CO2変換 [t-CO2/(44/12)]	CO2排出量 [t-CO2/年]	月別使用量														
		数量	単位						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	都市ガス	0.00	千m3/年	44.8	GJ/千m3	0.0136	3.666667	0.00															
2	LPG	0.00	t/年	50.8	GJ/t	0.0161	3.666667	0.00															
3	A重油	0.00	kg/年	39.1	GJ/kg	0.0189	3.666667	0.00															
4	灯油	0.00	kg/年	36.7	GJ/kg	0.0185	3.666667	0.00															
5	軽油	6.93	kg/年	37.7	GJ/kg	0.0187	3.666667	17.91	0.67268	0.46215	0.48331	0.57182	0.6467	0.5458	0.66004	0.58139	0.60641	0.52616	0.52794	0.64584			
6	ガソリン	6.70	kg/年	34.6	GJ/kg	0.0183	3.666667	15.87	0.62101	0.5217	0.6871	0.3763	0.71264	0.7939	0.56347	0.47285	0.5542	0.4295	0.50481	0.4660			
合計									33.48	1.29369	0.98385	1.17041	0.94812	1.35934	1.3397	1.22351	1.05424	1.16061	0.95566	1.03275	1.11274		

2) 電気の場合 Scope 2 (購入電気) 269.52 t-CO2/年

NO	エネルギーの種類	エネルギー使用量		電気事業者名	単位	排出係数 [t-CO2/kWh]	CO2排出量 [t-CO2/年]	月別使用量															
		数量	単位					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
1	系統1	356,109	kWh/年	藤田商店		0.000529	188.38	723	728	722	705	54,494	48,253	42,744	35,512	37,758	42,152	47,091	45,227				
2	系統2	191,354	kWh/年	日本エナジー		0.000424	81.13	42,015	42,432	52,014	54,893												
3	系統3	0	kWh/年				0.00																
電気合計									269.52	42,738	43,160	52,736	55,998	54,494	48,253	42,744	35,512	37,758	42,152	47,091	45,227		

2022年度 Scope 1 + 2 321.97 t-CO2/年

1) ガス・重油の場合 Scope 1 (燃料) 30.41 t-CO2/年

NO	エネルギーの種類	エネルギー使用量		発熱量	単位	排出係数 [t-CO2/G]	CO2変換 [t-CO2/(44/12)]	CO2排出量 [t-CO2/年]	月別使用量														
		数量	単位						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	都市ガス	0.00	千m3/年	44.8	GJ/千m3	0.0136	3.666667	0.00															
2	LPG	0.00	t/年	50.8	GJ/t	0.0161	3.666667	0.00															
3	A重油	0.00	kg/年	39.1	GJ/kg	0.0189	3.666667	0.00															
4	灯油	0.04	kg/年	36.7	GJ/kg	0.0185	3.666667	0.09															
5	軽油	6.94	kg/年	37.7	GJ/kg	0.0187	3.666667	17.94	0.5601	0.59093	0.5209	0.64594	0.6144	0.61774	0.5825	0.6234	0.53032</						

# Jクレジット購入

弊社では日頃より脱炭素経営に取り組んでいます。

その取組みの一つとして、令和7年3月7日香川県と、香川県【かがわスマートグリーン・バンク（太陽光発電）】クレジット売買契約を締結し、20t-CO<sub>2</sub>購入いたしました。

## （令和6年度実績）

- ・購入者 : 株式会社百十四銀行
- ・業務内容 : 預金・貸出業務、為替業務、コンサルティング業務、資産形成業務、外国為替業務等
- ・所在地 : 高松市亀井町5-1
- ・購入量 : 500t

- ・購入者 : 東洋炭素株式会社（詫間事業所からのお申込み）
- ・業務内容 : 高機能カーボン製品の製造、販売および関連する加工事業
- ・所在地 : 大阪市北区梅田1-13-1大阪梅田ツインタワーズ・サウス16F
- ・購入量 : 1,190t

- ・購入者 : 株式会社富士印刷（観音寺市大野原工場からのお申込み）
- ・業務内容 : 印刷及び関連する紙加工業、シールラベル製品の製造
- ・所在地 : 四国中央市川之江町長須192
- ・購入量 : 20t



sbtiservices.com  
info@sbtiservices.com

### APPROVAL LETTER

July 2025

Dear **Fuji Graphic Arts Co., Ltd.**,

Thank you for submitting your greenhouse gas emission reduction targets to SBTi Services for validation.

Our Team has assessed your company's targets against the SME Criteria Assessment Indicators (v1.0). After a careful review, we are happy to inform you that your submitted targets have been approved.

Basic information about your company and the approved targets will be listed on the [SBTi's Target Dashboard](#). The following agreed target wording will be used:

*Fuji Graphic Arts Co., Ltd. commits to reduce absolute scope 1 and 2 GHG emissions 46.2% by 2030 from a 2019 base year, and to measure and reduce its scope 3 emissions.*

Congratulations on your approved science-based targets!

Regards,  
SBTi Services



SCIENCE  
BASED  
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

SBTi Services Limited is a limited company registered in England and Wales (15181058). Registered address: First Floor, 10 Queen Street Place, London, England, EC4R 1BE. SBTi Services Limited is a wholly owned subsidiary of Science Based Targets Initiative.



sbtiservices.com  
info@sbtiservices.com

### 承認書

2025年7月

富士グラフィックアーツ株式会社様

温室効果ガス排出削減目標をSBTiサービスに提出いただき、ありがとうございます。

弊社チームは、貴社の目標を中小企業基準評価指標 (v1.0) に照らして評価いたしました。慎重に審査した結果、提出された目標が承認されたことをお知らせいたします。

貴社の基本情報と承認された目標は、SBTiの目標ダッシュボードに掲載されます。合意された目標の文言は、以下のとおりです。

富士グラフィックアーツ株式会社は、スコープ1および2の温室効果ガス排出量を2019年を基準年として2030年までに46.2%削減し、スコープ3の排出量を測定し削減することを約束します。

科学的根拠に基づいた目標の承認、おめでとうございます！

敬具 SBTi  
サービス



科学的根拠に  
基づいた  
目標

SBTiサービス・リミテッドは、イングランドおよびウェールズで登記された有限会社 (番号 15181058) です。登記住所: 10 Queen Street Place, London, England, EC4R 1BE。1 階。SBTiサービス・リミテッドは、Science Based Targets Initiative (SBTi) の完全子会社です

# 令和6年度「かがわ脱炭素取組優秀賞」を受賞

〈取組み内容〉脱炭素への取組みの一環として、メイン金融機関と共同で脱炭素事業計画を策定した。カーボンニュートラルと、経済発展の同時達成をすべく、省エネ・再エネ設備の拡充を目指す脱炭素に向けた新工場建設に着手し、令和6年1月に竣工。新工場内の照明は全てLEDを採用、電源スイッチの細分化や人感センサー機能により不要な場所の照明は自動消灯・節電を採用。空調は排気だけではなく、吸気も行う換気設備を導入し空気の流れを制御することで負荷を軽減、冷暖房コストを抑える。印刷機からの熱を速やかに外へ排気し外部より吸気ができるよう設計・工夫し室内の温度上昇を抑制。

～脱炭素に向けた新工場概要～

令和6年1月16日完成

【写真①】自家消費型太陽光発電設備を設置

【写真②】省エネ・省資源、印刷時に放出される有害化学物質の低減、騒音低減などに取組める、より環境負荷の少ない印刷機「リスロンG40 アドバンス」を新たに導入

【写真③】既存の工場にも据付している、デマンド監視装置を新工場に導入し、「電力の見える化」による省エネに取組んだ。

【写真④】EV充電設備を設置し、EV車を購入した。(令和6年1月購入)

【写真⑤】電動ブラッターを購入し、新工場で使用、充電している。(令和5年9月購入)

【写真①】



【写真②】



【写真⑤】



【写真③】



【写真④】



令和7年3月7日 香川県庁にて



# 地元新聞社に取材を受け掲載されました

## 注目の先進事例 脱炭素化の推進へ

### 省エネ拡充した新工場稼働

#### 「攻め」の脱炭素経営へ

富士印刷(観音寺市)

カタログやパンフレット、ポスターなどのデザインデータ作成及び紙加工製品の印刷・加工を手がける富士印刷(観音寺市)は、「ネットゼロ(二酸化炭素・CO<sub>2</sub>排出実質ゼロ)社会実現に向けた攻めの脱炭素経営をスタート。専門家による調査をもとにCO<sub>2</sub>排出量を可視化した上で、削減に向けた取り組みに力を入れていることなどが評価され、令和6年度のかがわ脱炭素促進事業者表彰」の優秀賞を受賞した。

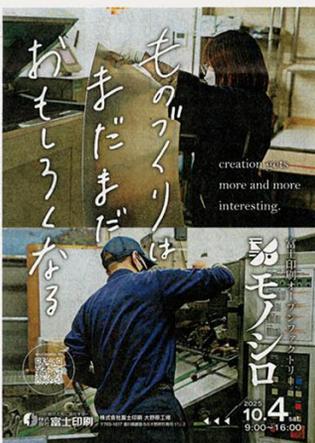
製造工程におけるCO<sub>2</sub>排出量を30年度までに21年度比で30%削減し、50年度にはネットゼロとする目標を掲げている。

脱炭素と事業拡大を両立するため、観音寺市で省エネ・再エネ設備を拡充した新工場の建設を着手し、24年1月に完成した。新工場は自家消費型太陽光発電設備を備え、電源スイッチの細分化や人感センサー機能により不要な場所の照明は自動で消灯するなど節電を徹底している。空調設備も省エネ化。排気に加え、吸気も行う換気設備を導入し空気の流れを制御することで環境負荷を軽減、冷暖房コストを抑えた。また全ての工場において、デマンド監視装置設置による電力使用量過多の抑制、照明等の完全LED化、使用するリフトのEV化を行っている。

このほか、国際認定「SB

Tサイエンス・ベースド・ターゲット」の取得に向けた取り組みが最終段階を迎える。SBTは地球温暖化対策の世界的な枠組みパリ協定の目標達成に向け、温室効果ガス削減に取り組み企業の実績を科学的に審査・認定しており、認定取得を通じて、脱炭素経営に弾みをつける。

さらに10月4日(土)に新工場を一般公開する富士印



10月4日に新工場を一般公開するオープンファクトリーを開催する

刷オープンファクトリー・モノシロを開催し、自社の取り組みを取引先や地域住民らに紹介する予定。石川正人代表取締役は、脱炭素は国が決めた方針。情報をいち早く入手し、しっかり理解すると同時に脱炭素の先に何かあるか考えて実践に結び付けることが大事に。社員全員に浸透するまで、地道に活動を継続していきたい」としている。

企画 制作/四国新聞社広告局



さらなる脱炭素への取り組みを誓う社員たち

# 富士印刷オープンファクトリー モノシロ開催

2025.10.4 (土)

OPEN▶9:00~16:00



＜主催＞オープンファクトリー実行委員会

＜後援＞ 四国中央市 四国中央市教育委員会 観音寺市 観音寺市教育委員会 27

株式会社富士印刷

# 地域の皆様から選ばれる会社

## 誰一人取り残さない社会



脱炭素に関しては、多くの人が  
取り残されている  
地域、暮らし、社会の  
脱炭素推進の  
旗振り役を担いたい



社会の中の当社のイメージ図



「  
想いが  
未来を拓く!!  
」

株式会社富士印刷

代表取締役 石川 正人

ご清聴  
ありがとうございました

